

HPE ProLiant DL360 Gen11サーバーユーザーガイド

部品番号: 30-1311EFD2-004-ja-JP 発行: 2023年12月 版数: 5

HPE ProLiant DL360 Gen11サーバーユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象として います。Hewlett Packard Enterpriseでは、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について 理解していることを前提としています。

部品番号: 30-1311EFD2-004-ja-JP 発行: 2023年12月 版数: 5

© Copyright -2023 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証 については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するも のではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対 して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、 その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。 FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソ フトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ(Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items)は、ベンダー標準の商業用使 用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。 Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel®、Itanium®、Optane™、Pentium®、Xeon®、Intel Inside®、およびIntel Insideロゴは、Intel Corporationまたはそ の子会社の商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

VMware ESXi™とVMware vSphere®は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。

Red Hat® Enterprise Linuxは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

microSD®はSD-3Dの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Kensington®はACCO Brandsの登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

- コンポーネントの識別
 - フロントパネルのコンポーネント
 - 。 フロントパネルのLEDとボタン
 - UIDボタンの機能
 - フロントパネルのLED電源障害コード
 - Systems Insight Display LED
 - Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明
 - リアパネルのコンポーネント
 - 。 リアパネルのLED
 - 。システムボードのコンポーネント
 - ヒートシンクおよびプロセッサーソケットのコンポーネント
 - 閉ループ液冷ヒートシンクのコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMラベルの識別
 - DIMMスロット位置
 - 。 ドライブボックスと番号
 - ホットプラグ対応ファン
 - 。 HPE のベーシックドライブのLEDの定義
 - 。 EDSFF SSDのLEDの定義
 - 。HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント
 - 。HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義
- セットアップ
 - オプションサービス
 - 。サーバーをセットアップする
 - 。 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - 。 ラックに関する警告と注意事項
 - 。 サーバーに関する警告と注意事項
 - 。 静電気対策
- 操作
 - 。サーバーデータバックアップ
 - 。 サーバーの電源を切る
 - ラックからサーバーを引き出す
 - 。 ケーブルマネジメントアームを解放する
 - ラックからサーバーを取り外す
 - 。 ベゼルを取り外す
 - 。 アクセスパネルを取り外す
 - 。 プライマリPCIeライザーケージを取り外す
 - 。 プライマリPCIeライザーケージを取り付ける
 - 。 ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し
 - 。 Systems Insight Displayへのアクセス

- アクセスパネルを取り付ける
- 。 サーバーの電源を入れる
- ハードウェアオプションの取り付け
 - 。 はじめに
 - 。 Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - コントローラー
 - タイプpストレージコントローラーを取り付ける
 - タイプoストレージコントローラーを取り付ける
 - 。 冷却
 - 高性能ファンの取り付け
 - 。 ドライブケージ
 - 2 SFF(2.5型)ドライブケージの取り付け
 - Energy Packオプション
 - 最小ファームウェアバージョン
 - HPE Smartストレージバッテリ
 - HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - Smartストレージバッテリ/キャパシターを取り付ける
 - ハードディスクドライブ
 - ドライブのガイドライン
 - ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け
 - E3.Sドライブを取り付ける
 - 。 管理
 - Systems Insight Displayの取り付け
 - シリアルポートオプションの取り付け
 - 。 メモリ
 - メモリ取り付け情報
 - DIMMプロセッサーの互換性
 - DIMMブランクを取り付ける
 - DIMMの取り付け
 - 。ネットワーク
 - OCPネットワークアダプターを取り付ける
 - PCIeネットワークアダプターを取り付ける
 - オプティカルドライブとメディアベイ
 - 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け
 - 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け
 - 4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け
 - ∘ OSブートデバイス
 - ブートデバイスドライブを取り付ける
 - HPE NS204iブートデバイスを取り付ける
 - 。 電源装置オプション
 - 冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け
 - プロセッサーとヒートシンクのオプション
 - プロセッサーに関する注意事項
 - プロセッサーを取り付ける
 - 直接液冷キットの接続

ラックマウントオプション

- ラックマウントインターフェイス
- レール識別マーカー
- ラックレールの取り付け
- サーバーをラックに取り付ける
- ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
- ケーブルマネジメントアームの取り付け
- 。 ライザーおよびライザーケージオプション
 - PCIe5スロットの説明
 - プライマリPCIライザーケージオプション
 - スロット1への拡張ボードの取り付け
 - スロット2への拡張ボードの取り付け
 - プライマリライザーケージにGPUを取り付ける
 - セカンダリPCIライザーオプション
 - セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け
 - セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け
 - セカンダリライザーケージへの拡張ボードの取り付け
- 。 セキュリティ
 - ベゼルの取り付け
 - シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け
 - Trusted Platform Module 2.0のガイドライン
- ケーブル接続
 - 。 ケーブル接続のガイドライン
 - 。 ケーブル配線図
 - EDSFF ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - NS204i-uのケーブル接続
 - OCPアダプター帯域幅アップグレードのケーブル接続
 - 電源ケーブルの接続
 - I0ケーブル接続
 - Systems Insight Displayのケーブル接続
 - 侵入検知スイッチのケーブル接続
 - シリアルポートのケーブル接続
 - Smartストレージバッテリ/キャパシターのケーブル接続
- 構成関連情報
 - 。ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - 。 サーバーの構成
 - 。 ストレージコントローラーの構成
 - 。HPE NS204i ブートデバイスの管理
 - 。 オペレーティングシステムの展開
 - 。 セキュリティの構成
 - 。 サーバーの最適化
 - 。 サーバー管理
 - 。Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

- トラブルシューティング
 - ∘ NMI機能
 - 。 トラブルシューティングの資料
- 仕様
 - 。 環境仕様
 - 。 機械仕様
 - 。 電源装置の仕様
 - = HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - 。ホットプラグ対応電源装置に関する計算
- Webサイト
- サポートと他のリソース
 - Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス
 - 。アップデートへのアクセス
 - 。 リモートサポート
 - 。 保証情報
 - 。規定に関する情報
 - 。 ドキュメントに関するご意見、ご指摘

コンポーネントの識別

サブトピック

フロントパネルのコンポーネント フロントパネルのLEDとボタン リアパネルのコンポーネント リアパネルのLED システムボードのコンポーネント ドライブボックスと番号 ホットプラグ対応ファン HPE のベーシックドライブのLEDの定義 EDSFF SSDのLEDの定義 HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義

フロントパネルのコンポーネント

SFF (2.5型)



番号	説明
1	シリアル番号/iL0情報プルタブ
2	ディスプレイポート(オプション) ¹
3	オプティカルドライブ(オプショ ン)
4	USB 2.0ポート(オプション) ¹
5	iLOサービスポート ²
6	USB 3.2 Gen 1ポート
7	ドライブベイ

¹ このオプションは、2 SFF (2.5型) ドライブベイに置き換えることができます。 ² オペレーティングシステムは、このポートをUSBポートとして認識しません。

LFF (3.5型)

1 2 3	50
7	

番号	説明
1	オプティカルドライブ(オプショ ン)
2	シリアル番号/iL0情報プルタブ
3	ディスプレイポート(オプション)
4	USB 2.0ポート(オプション)
5	USB 3.2 Gen 1ポート
6	iLOサービスポート ²
7	ドライブベイ

フロントパネルのLEDとボタン



番号	説明	ステータス
1	電源ボタンおよびシステ	緑色で点灯 = システムに電源が入っています
	ム 電源LED 「	緑色で点滅 = 電源投入シーケンスを実行中で す
		オレンジ色で点灯 = システムはスタンバイ状 態です
		消灯 = 電源が供給されていません 1
2	ヘルスLED ¹	緑色で点灯 = 正常
		緑色で点滅 = iLOが再起動しています。
		オレンジ色で点滅 = システムの機能が劣化し ています
		赤色で点滅 = システムに重大な障害が発生し ています ²
3	NICステータスLED ¹	緑色で点灯 = ネットワークにリンクされてい ます
		緑色で点滅 = ネットワークが動作しています
		消灯 = ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED <u>3</u>	青色で点灯 = 動作しています。
		青色で点滅:
		 1 Hz = リモート管理またはファームウェ アアップグレードが進行中
		 4 Hz = iL0の手動再起動シーケンス開始
		 8 Hz = iL0の手動再起動シーケンス実行中 消化 - 動作していません
		/F/」- 町Fしていません。

- 1 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。
- 2 ヘルスLEDが劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、システムIMLを確認するか、またはiLOを使用して システムヘルスステータスを確認してください。
- 3 この表で説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。

サブトピック

<u>UIDボタンの機能</u> <u>フロントパネルのLED電源障害コード</u> <u>Systems Insight Display LED</u> <u>Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明</u>

UIDボタンの機能

サーバーの電源が入らないときにUIDボタンを使用すると、ラック内の特定のサーバーを識別したり、サーバーヘルスサマ リーを表示したりすることができます。詳しくは、<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>にある最新のHPE iL0ユーザー ガイド参照してください。

フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバー

に適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサー	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
0CPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCleのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display LEDは、システムボードのレイアウトを表しています。この表示によって、取り付けられたアク セスパネルの診断が可能になります。



説明	ステータス
プロセッサー LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = プロセッサーに障害が発生しています
DIMM LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります
DIMMグループ LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = DIMMグループに障害が発生しているか、または構成に問題があります
ファンLED	消灯 = 正常 オレンジ色 = ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
NIC LED ¹	消灯 = ネットワークにリンクされていません 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています 緑色で点滅 = ネットワークにリンクされ動作しています 電源が切れている場合は、フロントパネルのLEDが機能しません。ステータスについては、 <u>リアパネルの LED</u> を参照してください。
電源装置のLED	消灯 = 正常 オレンジ色で点灯 = 電源サブシステムが劣化しているか、電源装置に障害が発生しているか、または入 力電源が切断されています。
PCIライザー LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = PCIライザーケージが正しく取り付けられていません
温度超過LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = 高温を検出
消費電力上限 LED	消灯 = システムはスタンバイの状態か、消費電力上限が設定されていません。 緑色で点灯 = 消費電力上限が適用されます
AMP ² ステータ スLED	消灯 = AMPモードが無効 緑色で点灯 = AMPモードが有効 オレンジ色で点灯 = フェイルオーバー オレンジ色で点滅 = 無効な構成

- 内蔵NICポートはサーバーに装備されていません。Systems Insight DisplayのNIC LEDは、ネットワークアダプター ポートのアクティビティに応じて点滅します。デュアルポートアダプターの場合、それぞれのネットワークポートの 動作に対応して、NIC LED 1と2だけが点灯します。
- 2 アドバンストメモリプロテクションを構成するには、最新のUEFIシステムユーティリティユーザーガイドを参照して ください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示し ます。これらのLEDの組み合わせについて詳しくは、<u>Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明</u>を参照して ください。

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

次のLED点灯の組み合わせは、システム状態を示します。

• Systems Insight Display LED

Systems Insight Display LEDと色	ヘルス LED	システム電 源 LED	ステータス
プロセッサー(オレン ジ色)	赤色	オレンジ色	以下に示す1つまたは複数の状 態が発生している可能性があり ます。
			 ソケットXのプロセッサーに 障害が発生しました。 プロセッサーXがソケットに 取り付けられていない。 プロセッサーXはサポートさ れていない。 POST実行中に、故障したプ ロセッサーをROMが検出しま した。
プロセッサー(オレン ジ色)	オレン ジ色	緑色	ソケットXのプロセッサーが障 害予測状態です。
DIMM(オレンジ色)	赤色	緑色	1つ以上のDIMMに障害が発生し ました。
DIMM(オレンジ色)	オレン ジ色	緑色	スロットXのDIMMが障害予測状 態です。
温度超過(オレンジ 色)	オレン ジ色	緑色	ヘルスドライバーが注意温度レ ベルを検出しました。
温度超過(オレンジ 色)	赤色	オレンジ色	サーバーは、ハードウェアの温 度がクリティカルなレベルに達 したことを検出しました。
PCIライザー(オレンジ 色)	赤色	緑色	PCIライザーケージが適切に固 定されていません。
ファン(オレンジ色)	オレン ジ色	緑色	1つのファンが故障したか取り 外されています。
ファン(オレンジ色)	赤色	緑色	2つ以上のファンが故障したか 取り外されています。
電源装置(オレンジ 色)	赤色	オレンジ色	以下に示す1つまたは複数の状 態が発生している可能性があり ます。 ・ 装着されている電源装置は1 台だけで、その電源装置は スタンバイの状態です。 ・ 電源装置の障害です。 ・ システムボードの障害で す。

- システム電源LED
- ヘルスLED

Systems Insight Display LEDと色	ヘルス LED	システム電 源LED	ステータス
電源装置(オレンジ 色)	オレン ジ色	緑色	以下に示す1つまたは複数の状 態が発生している可能性があり ます。
			 冗長電源装置が取り付けられており、1つの電源装置だけが機能している。 冗長電源装置にAC電源コードが接続されていません。 冗長電源装置の障害です。 電源装置がPOST時に適合しない、またはホットプラグによる追加作業時に不適合が発生している。
パワーキャップ(消 灯)	_	オレンジ色	スタンバイ。
パワーキャップ(緑 色)	_	緑色で点滅	電源投入を待っています。
パワーキャップ(緑 色)	_	緑色	電力が使用可能です。
消費電力上限(オレン ジ色で点滅)	-	オレンジ色	電力が使用できません。

重要: 複数のDIMMスロットのLEDが点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが 必要です。他のすべてのDIMMを取り外して、DIMMの各バンクをテストしてください。バンク にある各DIMMを正常に動作しているDIMMと交換して、障害のあるDIMMを特定してください。

リアパネルのコンポーネント

1



番号	説明
1	スロット1 PCIe5
2	スロット2 PCIe5
3	スロット3 PCIe5(オプション - 2つ目のプロセッサーが必 要)
4	電源装置2(PS2)
5	電源装置1 (PS1)
6	ビデオ(VGA)ポート
7	0CP 3.0スロット15
8	シリアルポート(オプション)
9	iLOマネジメントポート
10	USB 3.2 Gen 1ポート
11	OCP 3.0スロット14

リアパネルのLED



番号	説明	ステータス
1	電源装置1のLED	禄色で点灯 = 正常
		消灯 = 以下に示す、1つまたは 複数の状態が発生しています。
		• AC電源が供給されていない
		 ・ 電源装置に障害が発生して いる
		 電源装置がスタンバイモー ドに入っている
		 電源装置が電流制限を超えた。
2	電源装置2のLED	緑色で点灯 = 正常
		消灯 = 以下に示す、1つまたは 複数の状態が発生しています。
		• AC電源が供給されていない
		 電源装置に障害が発生して いる
		 電源装置がスタンバイモー ドに入っている
		 電源装置が電流制限を超えた。
3	iLO/標準NIC動	緑色で点灯 = 動作しています。
	作LED	緑色で点滅 = 動作しています。
		消灯 = 動作していません。
4	iLO/標準NICリ ンクLED	緑色で点灯 = 接続されていま す。
		消灯 = リンクされていません。
5	UID LED	青色で点灯 = 確認機能が使用さ れています。

青色で点滅 = システムはリモー トで管理されています。 消灯 = 確認機能が使用されてい ません。

システムボードのコンポーネント



番号	説明
1	システムメンテナンススイッチ
2	フロントDisplayPort/USB 2.0コネクター
3	0CPスロット14、ポート2
4	LP SlimSASポート2
5	LP SlimSASポート1
6	プライマリライザーコネクター
7	フロントI/OコネクターおよびUSB 3.2 Gen 1ポー ト
8	OCPスロット14バックアップ電源コネクター
9	SATAオプティカルポート
10	ソケット1 MCIOポート1
11-18	x8 SlimSASポート 1
19	冷却モジュールコネクター
20	内部USBポート ²
21	ドライブバックプレーン電源コネクター
22	シャーシ侵入検知スイッチコネクター
23	ソケット2 MCIOコネクター2
24	ソケット2 MCIOコネクター1
25	SIDコネクター
26	セカンダリライザーコネクター
27	OCPスロット15バックアップ電源コネクター
28	システムバッテリ
29	Energy Packコネクター
30	NS204i-u電源コネクター
31	0CPスロット15、ポート1
32	0CPスロット15、ポート2
33	シリアルポートコネクター

- 1 SlimSASポートには、左から右へ1B~4B、1A~4Aの番号が付けられています。Bはプロセッサー2用で、Aはプロセッサー1用です。
- <u>2</u> 上 = USB 3.2 Gen 1ポート、下 = USB 2.0ポート

サブトピック

<u>ヒートシンクおよびプロセッサーソケットのコンポーネント</u> <u>閉ループ液冷ヒートシンクのコンポーネント</u> <u>システムメンテナンススイッチの説明</u> <u>DIMMラベルの識別</u> <u>DIMMスロット位置</u>

ヒートシンクおよびプロセッサーソケットのコンポーネント

高性能ヒートシンクが示されています。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサーキャリアラッチ
2	ヒートシンクラッチ
3	ヒートシンクナット
4	プロセッサーヒートシンクモジュー ル ¹
5	調整ネジ
6	ボルスタープレート

1 このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサーに接続されたヒートシンクで構成されています。

閉ループ液冷ヒートシンクのコンポーネント

) 重要:

- 最大使用制限に関する注意事項:このサーバーで使用される閉ループ液冷ヒートシンクには、5年を超えない運用の最大使用制限が適用されます。この5年の制限に達したら、液冷ヒートシンクを交換する必要があります。Hewlett Packard Enterprise が最大使用制限に達したかそれを超えたと判断した部品やコンポーネントは、保証またはサービス契約の下では提供、修理、または交換されません。詳細については、最寄りのHPE 営業窓口までお問い合わせください。
- 液冷ヒートシンクのチューブには、クーラントがあらかじめ充填されています。このサーバークーラントの流出や漏れが万が一発生した場合は、サーバーメンテナンスガイドのAppendix I: Server coolant spill responseの推奨された手順に従ってください。

https://www.hpe.com/info/dl360gen11-msg



番号	説明
1	ラジエータ
2	ファン
3	信号ケーブル
4	ポンプ–コールドプレート ¹
5	クーラントチューブ

1 液冷ヒートシンクには、冗長性のために2つのポンプがあります。

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト	機能
S1 ¹	オフ	 オフ - iL0セキュリティは有効です。 オン - iL0セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 ¹	オフ	 オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 1, 23	オフ	 オフ - 動作していません。 オン - 製造時のデフォルト設定を復元します。
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
\$11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

1 冗長ROMにアクセスするには、S1、S5、およびS6をオンに設定します。

- 2 システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元 できるようになります。
- ³ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、<u>サーバーの構成</u>を参照してください。

DIMMラベルの識別

DIMMの特長を確認するには、DIMMに貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用してDIMMの仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 SmartMemoryのQuickSpecsを参照してく ださい。

https://www.hpe.com/docs/server-memory

	1 2 3 4 5 6 7 16GB 1Rx8 DDR5-4800B-R		
 - -			C

番号	説明	例
1	処理能力	16 GB
		32 GB
		64 GB
		128 GB
		256 GB
2	ランク	1R - シングルランク
		2R - デュアルランク
		4R - クアッドランク
		8R - オクタルランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット
		x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 – DDR5
5	メモリの最大速度	4800 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42
		B - 50-42-42 (128 GBおよび256 GB容量の場 合)
7	DIMMタイプ	R - RDIMM(レジスター付き)

DIMMスロット位置

DIMMスロットは、各プロセッサーごとに順番に番号(1~16)が付けられています。



ドライブボックスと番号

E3.S ドライブベイの番号

E	1	01	 T III	10	85	5	89	-		813	817 - 1	m	
г		82	 iπ.	<u> </u>	86		010		<u> </u>	014	018 -		
L		83			87		011			015	819 - 1	m	8
E	-L	84			80	-	812			816	820 = 1 1		ĽН

E3.S ドライブ構成では、すべてのドライブが同じボックス1に属しています。

SFF (2.5型) ドライブボックス



番号	説明	
1	ボックス1	
2	ボックス2	

8 SFF (2.5型) ドライブベイの番号

|--|--|--|--|--|

8 SFF (2.5型) +2 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



4 LFF (3.5型) ドライブボックスとベイ

すべてのLFF(3.5型)ドライブがボックス1に入っています。



ホットプラグ対応ファン

 注意:サーバーコンポーネントの損傷を防止するために、シングルプロセッサー構成では、 必ずファンベイ1と2にファンブランクを取り付けてください。
 注意:装置の損傷を防止するために、最適な数のファンが取り付けられていない場合は、 サーバーを長時間動作させないでください。サーバーが起動する場合もありますが、必要

なファンが取り付けられて稼働していない状態で サーバーを動作させないでください。

1プロセッサー構成



ファンベイ1	ファンベイ2	ファンベイ3	ファンベイ4	ファンベイ5	ファンベイ6	ファンベイ7
ファンブランク	ファンブランク	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン



ファンベイ1ファンベイ2ファンベイ3ファンベイ4ファンベイ5ファンベイ6ファンベイ7

ファン ファン ファン ファン ファン ファン

サーバーは可変ファン回転速度で動作します。温度が上昇し、ファンの回転速度を上げてサーバーを冷却する必要が発生するまでは、ファンは最小限の速度で回転します。1つのシングルローターファンが故障すると、冗長性が失われます。2つのシングルローターファンまたは1つのデュアルローターファンが故障すると、サーバーはシャットダウンを開始します。サーバーは、温度に関連した以下の場合にシャットダウンします。

- 注意レベルの温度が検出された場合、iL0は、POST実行時およびOSで、通常の方法のシャットダウンを実行します。通常のシャットダウンが行われる前にサーバーハードウェアが重大レベルの温度を検出した場合、サーバーが即時シャットダウンを実行します。
- 高温シャットダウン機能がBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で無効に設定されている場合、注意レベルの温度が検出 されても、iLOは通常の方法のシャットダウンを実行しません。この機能が無効に設定されている場合でも、重大な温度 レベルが検出されると、サーバーハードウェアは即時シャットダウンを実行します。

▲ 注意: BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で高温シャットダウン機能が無効に設定されている場合、高温イベントによりサーバーコンポーネントが損傷する場合があります。

ASHRAE準拠の構成には高性能ファンが必要です。ASHRAEについて詳しくは、Hewlett Packard Enterprise のWebサイト (<u>https://www.hpe.com/servers/ASHRAE</u>) を参照してください。

HPE のベーシックドライブのLEDの定義

HPE のベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブの ステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリア

LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリアはホットプラグSASまたはSATAをサポートしています。



SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリア

SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグSAS、SATA、またはU.3 NVMeをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無 効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測ア ラートが受信されました。また、このドライブが管理アプ リケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅(毎秒 1回点滅)	このドライブの障害予測アラートを受信しています。でき るだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅(毎秒1回点 滅)	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。
			 RAIDの再構築または実行
			• ストリップサイズの移行の実行
			 容量拡張の実行
			• 論理ドライブの拡張の実行
			• 消去
			• スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅(毎秒4回点 滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAIDコントローラーによる構成が行われてい ないか、またはスペアドライブです。

EDSFF SSDのLEDの定義

このサーバーでは、ホットプラグ対応のEnterprise and Data Center Standard Form Factor (EDSFF) ドライブをサポート します。具体的には、E3.S PCIe5 NVMe SSDです。EDSFFドライブキャリアには、次の2つのLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブの ステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効 です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されています。
		オレンジ色/青色で点 滅(毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測ア ラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケー ションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅 (毎秒1回点滅)	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できる だけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅(毎秒4回 点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	電源が供給されていません

HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント



番号

1 2

HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義



番号	LED	ステータス	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識 別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信 されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって 識別されました。
		オレンジ色で点滅(毎 秒1回点滅)	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くド ライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識 別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅(毎秒1回点	ドライブは以下のいずれかを実行中です。
		insk)	 RAIDの再構築または実行
			• 消去
		緑色で点滅(毎秒4回点 滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブは、RAIDコントローラーによって構成されていないか、ま たはスペアドライブです。

セットアップ

サブトピック

<u>オプションサービス</u> <u>サーバーをセットアップする</u> <u>動作要件</u>

オプションサービス

経験豊富な認定を受けたエンジニアによって提供されるHPEサポートサービスでは、HPE ProLiantシステム専用に作成され たサポートパッケージを通じて、サーバーの安定稼働に貢献します。HPEサポートサービスをご利用いただくと、ハード ウェアサポートとソフトウェアサポートの両方を単一のパッケージに統合できます。お客様のビジネスおよびITニーズに合 わせて、いくつかのサービスレベルオプションが用意されています。

HPEサポートサービスの購入しやすく使い勝手のよいサポートパッケージは、標準の製品保証を拡張するアップグレードさ れたサービスレベルを提供し、サーバーへの投資を最大限に活用するお手伝いをします。ハードウェア、ソフトウェア、ま たはその両方のHPEサポートサービスの一部は次のとおりです。

• HPE Pointnext Tech Care - システムの稼働を維持します。

このサービスの時間の約束は、お客様の地域によって異なることがあります。お客様の地域で利用可能なサービスについて詳しくは、最寄りの<u>HPEサポートセンター</u>にお問い合わせください。

- ハードウェアとソフトウェア両方の展開サービス。
- HPE教育サービス ITスタッフのトレーニングを支援します。

HPEサポートサービスについて詳しくは、HPE PointnextのWebサイトを参照してください。

https://www.hpe.com/services

サーバーをセットアップする

前提条件

サーバーをセットアップする前に、次の操作を行います。

- サーバーの動作要件を確認します。
 <u>動作要件</u>
- HPE Webサイト上の安全性とコンプライアンス情報を確認します。 <u>http://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts</u>

手順

- 1. サーバーボックスの内容を確認します。
 - サーバー
 - 電源コード
 - ラックマウント用ハードウェア部品
 - ドキュメント
- 2. (オプション)<u>ハードウェアオプションを取り付けます</u>。
- 3. サーバーをラックに取り付けます。

ラックの手順書は、ラックレールに付属しています。

- a. サーバーに、デバイス、ケーブル、およびコードを接続します。
- b. ケーブルマネジメントアームを使用して、ケーブルを固定します。

- 4. サーバーの管理方法を決定します。
 - ローカル管理の場合: KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
 - リモート管理の場合:リモートコンソールを使用してiLO Webインターフェイスに接続します。
 - a. iLOマネジメントポートが安全なネットワークに接続されていることを確認します。
 - b. ブラウザーを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

https://<iLOホスト名またはIPアドレス>

以下の点に注意してください。

- ホスト名はシリアルプルタブにあります。
- DHCPサーバーにIPアドレスを割り当てると、ブート画面にIPアドレスが表示されます。
- 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。
- デフォルトのログイン認証情報は、シリアルラベルプルタブにあります。
- c. サイドナビゲーションで、リモートコンソールおよびメディアリンクをクリックしてから、リモートコンソール を起動します。
- 5. 電源オン/スタンバイボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

動作要件

HPE ProLiant DL360 Gen11サーバーの設置に向けた計画とサイトの準備を行う際には、次の一般的な運用要件を必ず守って ください。

- <u>空間および通気要件</u>
- <u>温度要件</u>
- <u>電源要件</u>
- アース要件

サーバー固有の環境要件については、<u>環境仕様</u>を参照してください。

サブトピック

<u>空間および通気要件</u> <u>温度要件</u> <u>電源要件</u> <u>アース要件</u>

空間および通気要件

修理をしやすくし、また通気をよくするために、ラックの設置場所を決定する際には、次の空間要件に従ってください。

- ラックの正面に63.5 cm (25インチ)以上の隙間をあけてください。
- ラックの背面に76.2 cm (30インチ)以上の隙間をあけてください。
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面まで121.9 cm(48インチ)以上の隙間をあけてください。

Hewlett Packard Enterprise サーバーは、冷気をフロントドアから吸収して、内部の熱気をリアドアから排出します。し

たがって、ラックの正面ドアと背面ドアで適切な通気を行い、室内の空気が十分にキャビネットに入るようにする必要があ ります。また、背面ドアで適切な通気を行い、暖気がキャビネットから出ていくようにする必要があります。

注意:不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因 でラック全体およびサーバー間の空気の流れが変動することがあります。ブランクパネルですべての隙間を埋め、適切な通 気を確保してください。

注意: ラック内の空の縦スペースを満たすには必ずブランクパネルを使用してください。これにより、適切な通気が確保されます。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が 不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

9000および10000シリーズのラックは、通気のための64%の開口部を備えた正面および背面ドアの通気孔から適切なサーバー 冷却を提供します。

│ 注意:

他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。

- 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm(830平方インチ)の通気孔(通気に必要な64パーセントの開口部と同等)を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
- 側面-取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は7 cm (2.75イン チ)以上の隙間をあける必要があります。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してくださ い。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度(TMRA)は、35°C(95°F)です。ラックを設置する室内の温度は、35°C(95°F)を超えてはなりません。

注意:他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に 注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が 許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けし なければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition(全国的な電気規約)およびNFPA-75, 1992(電気コンピュー ター/データ処理装置の保護に関する規約)の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電 源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告:けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。

注意: サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS (無停電電源 装置)を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷から ハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準 だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべ ての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電 気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置 はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterprise では、 建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用すること をお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的 な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項

警告:
 すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は13.04 - 16.27 kg (28.74 - 35.86 lb) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で13.77 - 16.78 kg (30.36 - 37.00 lb) になります。
 ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。

警告:

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意し てください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイ ドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は13.04 16.27 kg(28.74 35.86 lb)を超えているため、サーバーを持ち上げてサーバーに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをサーバーから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをサーバーの外部に引き出す前に、サーバーを安定させてください。また、コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、サーバーが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出した ときに作業台として使用したりしないでください。

警告:

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該 当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、 またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック(脚)は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック(脚)にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。

警告:

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してください。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kgで、高さは2.1 mを超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支 えてください。

注意:

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。 い。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。

注意:

サーバーにサーバーを取り付ける前に、サーバーの制限事項の範囲を適切に定めてくださ い。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、サーバーの重量に対応できることを確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分 な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電 源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切る ことはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路は アクティブのままです。

警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品 が十分に冷めてから手を触れてください。

警告:

警告:

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために:

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を空けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い 空気圧にさらさないでください。
- Energy Packを60°C以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリ電圧が1秒から160秒間は残る可能性があります。

注意:

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してくださ い。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、 停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。

注意:

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または 交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと<u>静電気放電</u>を引き起こす可能性が あります。

注意:

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterprise ではハードウェアオプションの取 り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手 順を実行する前に、<u>サーバーのすべてのデータをバックアップする</u>ことをお勧めします。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。 その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い 部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、1 MΩ±10%です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足に アースバンドを付けます。
 - 。 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

サブトピック

サーバーデータバックアップ サーバーの電源を切る ラックからサーバーを引き出す ケーブルマネジメントアームを解放する ラックからサーバーを取り外す ベゼルを取り外す アクセスパネルを取り外す プライマリPCIeライザーケージを取り外す プライマリPCIeライザーケージを取り付ける ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し Systems Insight Displayへのアクセス アクセスパネルを取り付ける サーバーの電源を入れる

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやト ラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、シス テムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性 があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバーとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 UEF1システムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEF1ユー ザーガイド(<u>https://www.hpe.com/info/UEF1-manuals</u>)を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - ・ 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック(HPE Trusted Supply Chainサーバー用)に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - 。 サーバーシリアル番号と製品ID
- iL0関連データ iL0バックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iL0のユーザーガイド (<u>https://www.hpe.com/support/ilo6</u>)を参照してください。
 - 。 iLOのライセンス
 - 。 お客様のiLOユーザー名、パスワード、およびDNS名
 - 。 iL0構成設定
- HPE GreenLake for Compute Ops Managementによって管理されるサーバーの場合は、HPE GreenLakeのアカウントIDを 持っていることを確認してください。詳しくは、<u>HPE GreenLake for Compute Ops Managementお使いになる前に</u>を参照 してください。

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを 実行してください。

重要:

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- 電源ボタンを押して離します。
 この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
 この方法は、正しい順序でアプリケーションと0Sを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
iL0経由の仮想電源ボタンを使用する。
 この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと0Sを正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード(システム電源LEDがオレンジ色)になっていることを確認してください。

ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- T-25トルクスドライバーを使用して輸送用ネジを緩めることが必要な場合があります。
- 以下を確認してください。
 - 。 <u>ラックに関する警告と注意事項</u>
 - <u>サーバーに関する警告と注意事項</u>

手順

サーバーをラックから引き出します。





ケーブルマネジメントアームを解放する

手順

ケーブルマネジメントアームを解放し、動かしてラックから取り外します。



ラックからサーバーを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、以下を参照してください。

- <u>ラックに関する警告と注意事項</u>
- サーバーに関する警告と注意事項

このタスクについて

警告: けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き 出す前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. <u>ケーブルマネジメントアームを解放します</u>。
- 3. リアパネルからケーブルを取り外します。
- 4. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- 5. ラックからサーバーを取り外します。



6. サーバーを安定した水平な面に置きます。

ベゼルを取り外す

手順

1. Kensingtonセキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。



2. ベゼルを取り外します。



アクセスパネルを取り外す

このタスクについて

警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコン ポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

注意: アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させない でください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われないために冷 却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- ロック用ラッチを開くかロックを解除し、アクセスパネルをシャーシの背面側にスライドさせて、アクセスパネルを取り外します。



プライマリPCIeライザーケージを取り外す

このタスクについて

▲ 注意: サーバーまたは拡張ボードの損傷を防ぐために、サーバーの電源を切り、すべてのAC 電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取り付けを行ってください。

- 1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. PCIライザーケージを取り外します。



コンポーネントを交換するには、この取り外し手順を逆に実行してください。

プライマリPCIeライザーケージを取り付ける

手順

1. PCIライザーケージを取り付けます。



2. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。

- 3. <u>サーバーをラックに取り付けます</u>。
- 4. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し

注意:適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

- 1. <u>ホットプラグ対応ドライブのLEDの定義</u>からドライブのステータスを確認します。
- 2. ドライブ上のすべてのサーバーデータのバックアップを取ります。
- 3. ドライブを取り外します。

図 1. SFF (2.5型) ドライブ







Systems Insight Displayへのアクセス

このタスクについて

Systems Insight Displayは、SFF(2.5型) プラットフォームでのみ使用できます。

手順

1. パネルを押してロックを解放します。



2. ディスプレイを取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



アクセスパネルを取り付ける

手順

- ラッチを開いたまま、アクセスパネルをサーバーの上に置きます。
 アクセスパネルの位置をずらして、サーバーの背面側から約1.25 cm (0.5インチ)出るようにしてください。
- 2. ラッチを押し下げます。

アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。

3. 必要に応じて、ラッチのセキュリティネジを締めます。



サーバーの電源を入れる

このタスクについて

サーバーの電源を入れるには、以下のいずれかの方法を使用します。

- 電源ボタンを押します。
- iL0経由の仮想電源ボタンを使用します。

ハードウェアオプションの取り付け

サブトピック

<u>はじめに</u> <u>Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs</u> <u>コントローラー</u> 冷却 <u>ドライブケージ</u> <u>Energy Packオプション</u> <u>ハードディスクドライブ</u> 管理 <u>メモリ</u> <u>ネットワーク</u> <u>オプティカルドライブとメディアベイ</u> <u>0Sブートデバイス</u> <u>電源装置オプション</u> <u>プロセッサーとヒートシンクのオプション</u> <u>ラックマウントオプション</u> <u>ライザーおよびライザーケージオプション</u> セキュリティ

はじめに

ハードウェアオプションを取り付けてから、サーバーを初期設定してください。複数のオプションを取り付ける場合は、す べてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うよう にしてください。



Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise のWebサイト (<u>https://www.hpe.com/info/qs</u>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

コントローラー

サブトピック

<u>タイプpストレージコントローラーを取り付ける</u> タイプoストレージコントローラーを取り付ける

タイプpストレージコントローラーを取り付ける

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

1. 次のアラートに注意してください。



注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. <u>プライマリライザーケージを取り外します</u>。
- 8. コントローラーを取り付けます。



- 9. <u>ライザーケージを取り付けます</u>。
- 10. <u>コントローラーのケーブルの配線を行います</u>。
- 11. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 12. サーバーをラックに取り付けます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

タイフ0ストレージコントローフーを取り付ける

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

- ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
- 6. 0CPアダプターブランクを取り外します。



7. ストレージコントローラーを取り付けます。



- 8. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

冷却

サブトピック

<u>高性能ファンの取り付け</u>

高性能ファンの取り付け

このタスクについて

特定のハードウェア構成では高性能ファンが必要です。具体的な構成を確認するには、Hewlett Packard Enterprise <u>Webサ</u> <u>イト</u>にある製品のQuickSpecsを参照してください。

このキットは、35°Cを超える拡張された動作時の周囲温度を満たします。拡張された周囲構成について詳しくは、<u>Hewlett</u> <u>Packard Enterprise のWebサイト</u>を参照してください。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. ファンブランクをすべて取り外します。



6. すべての標準ファンを取り外します。



7. 高性能ファンを取り付けます。



- 8. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 9. サーバーをラックに戻します。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

ドライブケージ

サブトピック

<u>2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け</u>

2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け

前提条件

次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- オプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- 2 SFF (2.5型) ドライブまたはドライブブランク

- 1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

- 4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. ユニバーサルメディアベイブランクを取り外します。



6. 2 SFF (2.5型) ドライブケージを取り付けます。



- 7. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 8. 電源ケーブルを8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンに接続します。



- 9. <u>データケーブルを接続します</u>。
- 10. ドライブまたはドライブブランクを取り付けます。
- 11. アクセスパネルを取り付けます。
- 12. サーバーをラックに取り付けます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

Energy Packオプション

サーバー電源の計画外の停電が発生した場合、HPE ストレージコントローラーのフラッシュバックアップ式ライトキャッシュ(FBWC)機能には、フラッシュデバイス内の書き込みキャッシュデータをバックアップするための集中型バックアップ 電源が必要です。このサーバーは、Energy Packと総称される次の電源オプションをサポートします。

- <u>HPE Smartストレージバッテリ</u>
- <u>HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター</u>

1つのEnergy Packで、複数のデバイスをサポートします。その取り付け後に、Energy PackのステータスがHPE iLOに表示されます。詳しくは、iLOのユーザーガイドを参照してください。

https://www.hpe.com/support/ilo6

サブトピック

<u>最小ファームウェアバージョン</u> <u>HPE Smartストレージバッテリ</u> <u>HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター</u> <u>Smartストレージバッテリ/キャパシターを取り付ける</u>

最小ファームウェアバージョン

製品

最小ファームウェアバージョン

サーバーシステムROM

HPE SR900シリーズタイプp Gen11コントローラー 03.01.14.062

HPE Smartストレージバッテリ

HPE SmartストレージバッテリはHPE のSRとMRの両方のストレージコントローラーをサポートしています。

1.20

1個の96Wバッテリで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、 バッテリがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

HPE SmartストレージハイブリッドキャパシターはHPE のSRとMRの両方のストレージコントローラーをサポートしています。

コンデンサーパックは、最大2つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、145 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファー ムウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。

!) 重要:

システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョン よりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

Smartストレージバッテリ/キャパシターを取り付ける

前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。

- b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. Energy Packを取り付けます。



- 6. 必要に応じて、延長ケーブルを接続します。
- 7. ケーブルをシステムボードに接続します。



- 8. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 9. サーバーをラックに取り付けます。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

ハードディスクドライブ

サブトピック

<u>ドライブのガイドライン</u> <u>ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け</u> <u>E3.Sドライブを取り付ける</u>

ドライブのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。
- ハードドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。
 ドライブ番号については、「ドライブベイの番号」を参照してください。
- NVMe SSDはPCIeバスデバイスです。PCIeバスに接続されたデバイスは、デバイスとバスの信号またはトラフィックフローが完全に終了するまで取り外すことはできません。
 取り外し禁止ボタンのLEDが点滅している場合は、ドライブベイからNVMe SSDを取り外さないでください。取り外し禁止ボタンのLEDの点滅は、デバイスがまだ使用されていることを示します。デバイスの信号またはトラフィックフローが完全に終了する前にNVMe SSDを取り外すと、データが消失する可能性があります。
- 容量が同じドライブを同じドライブアレイにグループ化すると、ストレージの容量効率が最大になります。

ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け

このタスクについて

注意:不適切な冷却や高温による装置の損傷を防止するために、すべてのドライブベイとデバイスベイに必ず、コンポーネントかブランクのいずれかを実装してサーバーを動作させてください。

- 1. 次のドライブブランクを取り外します。
 - LFF (3.5型) ドライブブランク



• SFF (2.5型) ドライブブランク



- 2. ドライブを準備します。
 - LFF (3.5型) ドライブ



• SFF (2.5型) ドライブ



- 3. ドライブを取り付けます。
 - LFF (3.5型) ドライブ



• SFF (2.5型) ドライブ



4. <u>ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します</u>。

E3.Sドライブを取り付ける

このタスクについて

注意: 人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバ イスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、<u>静電気防止の注意事項</u>に 従ってください。

注意:不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、 コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

- 1. ドライブ上のすべてのサーバーデータのバックアップを取ります。
- 2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- 3. <u>ドライブのLEDステータスを確認</u>し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
- 4. ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



5. ドライブを準備します。



6. ドライブを取り付けます。



7. <u>ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します</u>。

8. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

9. ドライブアレイを構成するには、<u>関連するストレージコントローラーガイド</u>を参照してください。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

管理

サブトピック

<u>Systems Insight Displayの取り付け</u> シリアルポートオプションの取り付け

Systems Insight Displayの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。



警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。 **注意**:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. SIDブランクを取り外します。



8. SIDケーブルをサーバーの前面を通して配線します。



9. T-10トルクスドライバーを使用してSIDモジュールを取り付けます。



10. SIDケーブルをシステムボードに接続します。



- 11. アクセスパネルを取り付けます。
- 12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

以上で取り付けは完了です。

シリアルポートオプションの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- 5 mmナットドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。



警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性が あります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. シリアルポートブランクを取り外します。



8. 5 mmナットドライバーを使用してシリアルケーブルを取り付けます。



9. シリアルケーブルをシステムボードに接続します。



- 10. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 11. サーバーをラックに取り付けます。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 14. サーバーの電源を入れます。

以上で取り付けは完了です。

メモリ

サブトピック

<u>メモリ取り付け情報</u> <u>DIMMプロセッサーの互換性</u> <u>DIMMブランクを取り付ける</u> <u>DIMMの取り付け</u>

メモリ取り付け情報

特定のメモリ取り付けについては、Hewlett Packard Enterprise のWebサイト (<u>https://www.hpe.com/docs/server-</u> <u>memory</u>) にあるメモリの取り付けガイドラインを参照してください。

DIMMプロセッサーの互換性

第4世代インテルXeonスケーラブルプロセッサーは、DDR5-4800 DIMMをサポートします。 DIMMを混在させないでください。サーバーでサポートされているDDR5-4800 DIMMのみを取り付けます。

DIMMブランクを取り付ける

このタスクについて

(!

) 重要: このサーバーでは、使用可能なすべてのDIMMスロットにDIMMブランクが必要です。



- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. DIMMスロットのラッチを開きます。
- 6. DIMMブランクを取り付けます。



- 7. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 8. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 9. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 10. 各電源コードを電源に接続します。
- 11. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

以上で取り付けは完了です。

DIMMの取り付け

前提条件

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。
- <u>メモリ取り付けのガイドライン</u>を参照してください。

このタスクについて

このサーバーは、最大32枚のDIMMをサポートします。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。

- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. DIMMスロットのラッチを開きます。
- 6. DIMMを取り付けます。



- 7. アクセスパネルを取り付けます。
- 8. サーバーをラックに取り付けます。
- 9. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 10. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 11. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

UEFIシステムユーティリティのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を使用して、メモリモードを構成します。

LEDおよび障害が発生したDIMMのトラブルシューティングについて詳しくは、<u>System Insight Display LEDの組み合わせに</u> <u>ついての説明</u>を参照してください。

ネットワーク

サブトピック

<u>OCPネットワークアダプターを取り付ける</u> PCIeネットワークアダプターを取り付ける

OCPネットワークアダプターを取り付ける

前提条件

この手順を始める前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してくださ

い。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
- 6. 0CPアダプターブランクを取り外します。



7. ネットワークアダプターを取り付けます。



- 8. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

PCIeネットワークアダプターを取り付ける

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。

警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。

- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. 以下のいずれかを実行します。
 - アダプターをプライマリライザーのスロット1に取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. <u>プライマリPCIライザーケージを取り外します</u>。
 - b. ブランクを取り外します。
 - c. アダプターを取り付けます。



- アダプターをプライマリライザーのスロット2に取り付けるには、次の手順に従います。
- a. <u>プライマリPCIライザーケージを取り外します</u>。
- b. ブランクを取り外します。
- c. アダプターを取り付けます。



- 8. <u>ライザーケージを取り付けます</u>。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。

- 10. サーバーをラックに取り付けます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

以上で取り付けは完了です。

オプティカルドライブとメディアベイ

サブトピック

<u>8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け 8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け 4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け</u>

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

- 1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. ベイブランクを取り外します。


7. 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルオプションを取り付けます。



8. ケーブルをシステムボードに接続します。



- 9. 必要な場合は、オプティカルドライブを取り付けます。
- 10. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 11. サーバーをラックに取り付けます。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け

前提条件

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルブランクオプションを取り付けます。 次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。

- a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. オプティカルドライブブランクを取り外します。



6. オプティカルドライブを取り付けます。



7. オプティカルドライブのケーブルを接続します。



- 8. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 9. サーバーをラックに取り付けます。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

前提条件

次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。

4. トルクスT-10ドライバーを使用して、4 LFF(3.5型)ディスプレイポート/USBブランクを取り外します。



5. 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBモジュールを取り付けます。



- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. ケーブルをシステムボードに接続します。



- 8. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 9. サーバーをラックに取り付けます。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- LFF (3.5型) オプティカルケーブルオプションキット
- オプティカルドライブ

手順

- 1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 以下のいずれかを実行します。

- a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. LFF (3.5型) オプティカルドライブベイブランクを取り外します。



6. オプティカルドライブを取り付けます。



- 7. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 8. ケーブルをシステムボードに接続します。



- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをラックに取り付けます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

OSブートデバイス

サブトピック

<u>ブートデバイスドライブを取り付ける</u> <u>HPE NS204iブートデバイスを取り付ける</u>

ブートデバイスドライブを取り付ける

手順

1. ボタンを押してキャリアを引き出します。



2. SSD取り付けネジを取り外します。



- 3. SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します(番号1)。
- 4. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます(番号2)。
- 5. SSD取り付けネジを取り付けます(番号3)。



- 6. 2つ目のM.2 SSDがキャリアアセンブリに取り付けられている場合、手順1と2を繰り返します。
- キャリアをブートデバイスケージ内にスライドさせ、ボタンを押します。ラッチが所定の位置にロックされると、カ チッという音がします。ラッチが完全にかみ合っていることを確認します。



ドライブの取り外しについても、同じ手順に従ってください。

HPE NS204i ブートデバイスを取り付ける

前提条件

- 取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。
- この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

以下の点に注意してください。

- HPE NS204i-u Gen11ホットプラグ対応ブートデバイスは、ホットプラグ対応2280 M.2 NVMe SSDを2台搭載したPCIe3 x4 カスタムフォームファクターモジュールです。
- HPE NS204i-uブートデバイスは起動時にRAID1ボリュームを自動作成するため、構成は必要ありません。
- <u>HPE NS204i ブートデバイスコンポーネントを特定します</u>。

手順

- 1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - サーバーをラックから取り外します。
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. <u>プライマリライザーケージを取り外します</u>。
- 7. プライマリライザーケージからスロット2ブラケットを取り外します。



8. ブートデバイスケージを取り付けます。



- 9. <u>ブートデバイスドライブを取り付けます</u>。
- 10. ブートデバイスを取り付けます。
 - 外部ブートデバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. ラッチを取り付けます。



b. デバイスをライザーケージに取り付けます。





- 内部ブートデバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。
- a. マウンティングブラケットを取り付けます。



b. ブートデバイスをサーバーに取り付けます。



- 11. <u>HPE NS204i ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します</u>。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをラックに取り付けます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。
- 17. <u>HPE NS204i ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

電源装置オプション

サブトピック

<u> 冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け</u>

冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。 ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

手順

1. 次のアラートに注意してください。

注意: サーバーに取り付ける電源装置の出力電力はすべて同じでなければなりません。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。電源装置の 不一致が検出されると、システムが不安定になりシャットダウンする場合もあります。



注意:不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

- 2. <u>製品のリアパネルにアクセスします</u>。
- 3. ブランクを取り外します。





4. 電源装置を電源装置ベイに挿入して、カチっと音がしてはまるまで押し込みます。



- 5. 電源コードを電源装置に接続します。
- 6. 電源コードを配線します。電源コードとその他のケーブルを配線するときは、ベストプラクティスに従います。配線に はケーブルマネジメントアームが役立ちます。ケーブルマネジメントアームを入手するには、Hewlett Packard

Enterprise 製品販売店にお問い合わせください。

- 7. 電源コードをAC電源に接続します。
- 8. <u>電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

プロセッサーとヒートシンクのオプション

サブトピック

プロセッサーに関する注意事項 プロセッサーを取り付ける 直接液冷キットの接続

プロセッサーに関する注意事項

注意: プロセッサーやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッ サーの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。
注意: サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサー構成では、必 ず、同じ部品番号のプロセッサーを使用してください。

注意:プロセッサーソケットとプロセッサーのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷しま す。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが 壊れると、システムボードやプロセッサーの交換が必要になる場合があります。

重要:プロセッサーソケット1には必ずプロセッサーを取り付けてください。ソケット1にプロセッサーが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。

重要:以前より高速のプロセッサーを取り付ける場合は、プロセッサーを取り付ける前に、 システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードするに は、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターのWebサイト (<u>https://www.hpe.com/support/hpesc</u>)にアクセスしてください。

プロセッサーを取り付ける

前提条件

1

1)

- T-30トルクスドライバー
- サーマルグリース

このタスクについて



手順

1. 同じヒートシンクを使用している場合は、プロセッサーの上部にサーマルグリースシリンジの内容物すべてを塗りま す。次の図に示すパターンに従ってください。



2. 新しいヒートシンクを使用する場合は、サーマルインターフェイスマテリアルから保護フィルムを取り外します。



3. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



プロセッサーがプロセッサーキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。
次の図は、プロセッサーを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサーキャリアによって異なります。



- 5. ヒートシンクをプロセッサーキャリアに接続します。
 - a. プロセッサーキャリアとヒートシンクとでピン1インジケーターを揃えます。



b. プロセッサーキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。
ヒートシンクがプロセッサーキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。



- 6. 次の確認手順を実行します。
 - a. プロセッサーキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



b. プロセッサーとプロセッサーキャリアのピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



c. プロセッサーがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



7. 傾き防止ワイヤーをロック解除位置に設定します。



8.

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

プロセッサーヒートシンクモジュールを取り付けます。

- a. トルクレンチを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb) に設定します。
- b. ヒートシンクラベルの**サーバーの前面**のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサーヒートシンクモ ジュールを正しい向きにします。

c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサーヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

モジュールを一方向にのみ取り付けることができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、 モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



e. T-30トルクスドライバーを使用して、対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めてから(番号1~2)、もう1組の ヒートシンクネジを締めます(番号3~4)。



- 9. エアバッフルとその他の取り外したハードウェアコンポーネントを取り付けます。
- 10. アクセスパネルを取り付けます。
- 11. サーバーがエンクロージャーまたはラックから取り外された場合は、ここで再び取り付けます。
- 12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

直接液冷キットの接続

前提条件

DLCホースキットが揃っていることを確認してください。ホースキットは、DLCマニホールドをプロセッサーのコールドプレートに接続します。

このタスクについて

DLCシステムについて詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guideを参照してください: http://www.hpe.com/info/xdDLCguide

手順

- 1. サーバーの背面から、ライザーケージまたはNS204i-uブラケットから出ているホースを見つけます。
- 2. ホースからクイックコネクターキャップを取り外します。
- 3. DLCホースキットを接続します。
- 4. DLCホースキットをラックのDLCマニホールドに接続します。

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要のHPE ラックレールオプションを使用して、サーバーを標準4ポストサーバーに取り付けます。レール設計では、<u>さまざまなマウントインターフェイス</u>のサーバーへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットには次のオプションのいずれかまたは両方が含まれている場合があります。

- <u>ラックレールの面ファスナーストラップ</u>
- <u>ケーブルマネジメントアーム</u>

サブトピック

<u>ラックマウントインターフェイス</u> レール識別マーカー <u>ラックレールの取り付け</u> サーバーをラックに取り付ける <u>ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け</u> ケーブルマネジメントアームの取り付け

ラックマウントインターフェイス

サーバーレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効 なマウントインターフェイスのタイプを示します。

レール識別マーカー

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル(フロントベゼルなし)の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致 していることを確認してください。

 シャーシのレール番号ラベル レール#3と#5



フリクションラックレールのインナーレールにあるレール識別子スタンプ



フリクションラックレールのマウンティングレールにあるレール識別子スタンプ



ラックレールの取り付け

前提条件

- レールオプションがサーバー構成と互換性があることを確認してください。
- サーバーを丸ネジ穴ラックに取り付ける場合は、小型のマイナスドライバーを用意してください。

手順

1. サーバーにサーバーレールを取り付けます。



2. ラックレールを特定します。

- レールの前端には、FRONT LEFTまたはFRONT RIGHTとマークされています。
- レールのもう一方の端には、REARとマークされています。



- 3. ラックレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。
- 4. ラックレールを取り付けます。
 - 丸穴または角穴ラックの場合:



• 丸ネジ穴ラックの場合:





5. <u>サーバーをラックに取り付けます</u>。

サーバーをラックに取り付ける

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - <u>ラックに関する警告と注意事項</u>
 - 。 <u>サーバーに関する警告と注意事項</u>
 - 。 <u>空間および通気要件</u>
- T-25トルクスドライバー

手順

1. スライドレールをマウンティングレールから、内部のストッパーにぶつかって所定の位置にロックされるまで引き伸ば します。



- 2. サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します(番号1)。
 - b. シャーシイヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせて、ラックに押し込みます(番号2)。



- 3. シャーシイヤーを開き(番号1)、輸送用ネジを締めます(番号2)。
- 4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 5. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを閉じます。



ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

ラックマウント型サーバーにラック内保守性を必要としない場合は、CMAの代わりにラックレールの面ファスナーストラップを使用して、リアパネルのケーブルを管理します。面ファスナーストラップは、左側または右側のラックマウンティングレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

- 1. ストラップカラビナをラックマウンティングレールに取り付けます。
- 2. リアパネルの電源コードと周辺ケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

この手順を実行する前にラック警告および注意事項を確認します。

手順

- 1. すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。
- 2. (オプション)ブラケットを回転させます。



3. CMAを取り付けます。



4. ケーブルクランプを開きます。



注意: CMAに固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティ スを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

- リアパネルとCMAの間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをサーバーから引き出す際に、CMAを完全に引き出せるようにします。
- ただし、CMA内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、 ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをサーバーから引き出すか戻すときに、サーバーに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

周辺ケーブルと電源コードをケーブルクランプやストラップに通します。

5.



6. ケーブルクランプを閉じます。



ライザーおよびライザーケージオプション

サブトピック

<u>PCIe5スロットの説明</u> <u>プライマリPCIライザーケージオプション</u> セカンダリPCIライザーオプション



番号	説明	定義
1	PCI Expressのバージョン	PCIeの各バージョンは、プロセッサーと周辺機器の間の特定の データ転送速度に対応しています。一般に、バージョンをアッ プデートすると、転送速度は向上します。
		• PCIe 1.x
		• PCIe 2. x
		• PCIe 3.x
		• PCIe 4. x
		• PCIe 5.x
		PCIeテクノロジーは、現在も開発が進められています。最新情 報については、 <u>PCI SIGのWebサイト</u> を参照してください。
2	物理コネクターのリンク幅	PCIeデバイスは、インターコネクトまたはリンクと呼ばれる論 理接続を介して通信します。物理レベルでは、リンクは1つまた は複数のレーンで構成されます。レーンの数には、xというプレ フィックスが付いており、通常の使用ではx16が最大サイズにな ります。
		• x1
		• x2
		• x4
		• x8
		• x16
3	ネゴシエーション可能なリンク幅	これらの番号は、スロットでサポートされる最大リンク帯域幅 に対応します。

プライマリPCIライザーケージオプション

標準プライマリライザーは、以下をサポートします。

- スロット1 1x PCIe 5.0 x16 FHHL
- スロット2 1x PCIe 5.0 x16 LP

サブトピック

<u>スロット1への拡張ボードの取り付け</u>

<u>スロット2への拡張ボードの取り付け</u> プライマリライザーケージにGPUを取り付ける

スロット1への拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。

警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. <u>プライマリPCIライザーケージを取り外します</u>。
- 8. 拡張ボードを取り付けます。



- 9. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
- 10. <u>プライマリPCIライザーケージを取り付けます</u>。
- 11. アクセスパネルを取り付けます。
- 12. サーバーをラックに取り付けます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

スロット2への拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。

警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. <u>プライマリPCIe ライザーケージを取り外します</u>。
- 8. 拡張スロットブランクを取り外します。



9. T-10トルクスドライバーを使用して、拡張ボードを取り付けます。



- 10. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
- 11. <u>プライマリPCIe ライザーケージを取り付けます</u>。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをラックに取り付けます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

プライマリライザーケージにGPUを取り付ける

前提条件

このオプションには、標準プライマリPCIライザーケージが必要です。 このオプションを取り付ける前に、電源装置がこのオプションの取り付けをサポートすることを確認します。 また、ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

手順

1. 次のアラートに注意してください。



警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. <u>プライマリPCIライザーケージを取り外します</u>。
- 8. GPUブラケットを取り付けます。



9. GPUをライザーケージに取り付けます。

75 W以上を必要とするGPUを取り付ける場合は、電源ケーブルをプライマリライザー電源コネクターに接続します。



- 10. カードにリアサポートが必要な場合は、GPUサポートブラケットを取り付けます。
- 11. <u>プライマリPCIライザーケージを取り付けます</u>。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをラックに取り付けます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

セカンダリPCIライザーオプション

プライマリPCIライザーケージは、以下のオプションをサポートします。

- x16フルハイトライザーキット
- x16ロープロファイルライザーキット

サブトピック

<u>セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け</u> セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け セカンダリライザーケージへの拡張ボードの取り付け

セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け

前提条件

このオプションでは、デュアルプロセッサー構成が必要です。

このオプションを取り付ける前に、ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認 してください。

このタスクについて

このライザーケージが取り付けられている場合、追加のロープロファイルスロットが提供され、ハーフレングス/ハーフハ イトの拡張ボードがサポートされます。

手順

1. 次のアラートに注意してください。

警告:表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。

2 注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. セカンダリライザーケージを取り付けます。



- 8. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 9. <u>サーバーをラックに取り付けます</u>。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け

前提条件

このオプションでは、デュアルプロセッサー構成が必要です。 このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- 取り付ける拡張ボードまたはコントローラー
- T-10トルクスドライバー
- T-15トルクスドライバー

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>プライマリPCIライザーケージを取り外します</u>。
- 6. T-10トルクスドライバーを使用して、プライマリライザーケージからスロット2ブラケットを取り外します。



7. セカンダリライザーブランクを取り外します。



8. T-15トルクスドライバーを使用して、リアライザーサポートブラケットを取り外します。



9. フルハイトライザーサポートブラケットを取り付けます。



10. ライザーケージを取り付けます。

プライマリ



セカンダリ



- 11. アクセスパネルを取り付けます。
- 12. サーバーをラックに取り付けます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

セカンダリライザーケージへの拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部 品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意:電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。

- 3. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 6. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 7. セカンダリライザーを取り外します。
 - セカンダリフルハイト



• セカンダリロープロファイル



- 8. 拡張ボードを取り付けます。
 - セカンダリフルハイト
 - a. ブランクを取り外します。
 - b. T-10トルクスドライバーを使用して、コントローラーを取り付けます。



- セカンダリハーフハイト:
- a. ブランクを取り外します。
- b. T-10トルクスドライバーを使用して、コントローラーを取り付けます。



- 9. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
- 10. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 11. サーバーをラックに取り付けます。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 14. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

セキュリティ

```
サブトピック
```

<u>ベゼルの取り付け</u> <u>シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け</u> <u>Trusted Platform Module 2.0のガイドライン</u>

ベゼルの取り付け

手順

1. ベゼルを取り付けます。



2. Kensingtonセキュリティロックを使用してベゼルをロックします。



シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け

前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. シャーシ侵入検知スイッチを電源装置ベイの後ろに取り付けます。



- 6. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 7. サーバーをラックに取り付けます。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

注意:

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、 TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これに は、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア(システ ムボードやドライブなど)の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
- OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

Hewlett Packard Enterprise の特別な注意事項:このシステムでTPM機能を有効にする前に、TPMの用途が関連する地域の 法律、規定および政策に準拠することを保証し、該当する場合、承認または免許を取得しなければなりません。

慧与特别提醒:在您启用系统中的TPM功能前,请务必确认您对TPM的使用遵守当地相 关法律、法规及政策,并已事先获得所需的一切批准及许可(如适用),因您未获得 相应的操作/使用许可而导致的违规问题,皆由您自行承担全部责任,与慧与无涉。

• 内蔵TPMが有効にされている場合、Trusted Platform ModuleはTPM 2.0モードで動作します。

 TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成
 BIOS/プラットフォーム構成(RBSU) <u>></u>サーバーセキュリティ_> Trusted Platform Moduleオプションを選択します。 詳しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。

https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en

- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- HPE は、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

ケーブル接続

サブトピック

- <u>ケーブル接続のガイドライン</u>
- <u>ケーブル配線図</u>

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。

- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルの コネクター近くのラベルに対応しています。
- この章で使用するケーブル配線図のケーブルの色は、説明目的でのみ使用されます。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけで はありません。
 - 。 システムボードのポート
 - 。 ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート(コントローラー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード)
- 各ケーブルコネクター付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクターの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクターの終端には触らないようにしてください。

ケーブルの接続時

- ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- ・ 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。

電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

- ケーブルコネクターの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ 張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

ケーノル記称凶

次の注意事項に従ってください。

- コンポーネントをケーブル接続する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

表 1. SFF (2.5型) ク	rーブル ケーブルの知日来日
EDSFFドライフバックフレーンのケーフル接続	<u>P48965-001</u>
	<u>P48966-001</u>
	<u>P48967-001</u>
	<u>P48968-001</u>
8 SFF(2.5型)ドライブバックプレーンのケーブル接続	<u>P43732–001</u>
	<u>P45610-001</u>
	<u>P43730-001</u>
	<u>P43733-001</u>
	<u>P43731-001</u>
	<u>P45612-001</u>
	<u>P45613-001</u>
	<u>P45614-001</u>
	<u>P45615-001</u>
	<u>P45616-001</u>
	<u>P45617-001</u>
	<u>P48960-001</u>
	<u>P48963-001</u>
	<u>P48964–001</u>
2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続	<u>P43737-001</u>
	<u>P43738-001</u>
	<u>P45607–001</u>
	<u>P45611-001</u>
	<u>P45608-001</u>
	<u>P48961-001</u>
	P48962-001
0CP帯域幅アップグレードのケーブル接続	<u>P43734-001</u>
	P43734-001
	P43735-001
	<u>P43736-001</u>

表 2. LFF(3.5型)ケーブル		
コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号	
4 LFF(3.5型)ドライブバックプレーンのケーブル接続	<u>P43728–001</u>	
	<u>P48958-001</u>	
	<u>P48970-001</u>	

表 3. NS204iケーブル			
コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号		
NS204i-uブートデバイスのケーブル接続	<u>P54087–001</u>		
	<u>P54092-001</u>		
	<u>P54088-001</u>		
	P48956-001		

表 4. 電源ケーブル			
コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号		
電源ケーブルの接続	<u>P43726-001</u>		
	<u>P43729-001</u>		
	869667-001		
右イヤー電源スイッチケーブル	<u>P43727-001</u>		
Smartストレージバッテリのケーブル接続	<u>P45618-001</u>		

表 5. 10ケーブル

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
LFF(3.5型)ディスプレイケーブル	<u>P45619–001</u>
SFF(2.5型)ディスプレイケーブル	<u>P45620-001</u>
シリアルケーブル	<u>P45623-001</u>
侵入検知ケーブル	<u>P47751–001</u>
Systems Insight Displayケーブル	<u>P48971-001</u>
LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブケーブル	<u>P45621-001</u>
	<u>P45622-001</u>

サブトピック

<u>EDSFF ドライブバックプレーンのケーブル接続</u>
<u>8 SFF(2.5型)ドライブバックプレーンのケーブル接続</u>
<u>2 SFF(2.5型)ドライブバックプレーンのケーブル接続</u>
<u>4 LFF(3.5型)ドライブバックプレーンのケーブル接続</u>
<u>NS204i-uのケーブル接続</u>
<u>OCPアダプター帯域幅アップグレードのケーブル接続</u>
<u>電源ケーブルの接続</u>
<u>10ケーブル接続</u>
<u>Systems Insight Displayのケーブル接続</u>
<u>侵入検知スイッチのケーブル接続</u>
<u>シリアルポートのケーブル接続</u>
Smartストレージバッテリ/キャパシターのケーブル接続

EDSFF ドライブバックプレーンのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48965-001	ピンク色	ドライブバックプレーン	・システムボード
P48966-001	青色	ドライブバックプレーン	システムボード
P48967-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード
P48968-001	黄色	ドライブバックプレーン	[,] システムボード

8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続 8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43732-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット: P48895-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード (アンバランス、CPU1)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43730-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット: P48897-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード (バランス、CPU1/CPU2)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43733-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット: P48896-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43731-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット: P48896-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45616-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

1 オプションキット: P48909-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプpコントローラー



1 オプションキット: P48909-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48960-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコント ローラー

<u>1</u> オプションキット: P52416-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48963-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプ₀コント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48964-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコント ローラー

1 オプションキット: P52416-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45612-001 ¹	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー
P45613-001	黄色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー
P45614-001	青色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー
P45615-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

1 オプションキット: P48909-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45610-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレー	ン プライマリタイプoコント

1 オプションキット: P48909-B21

2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43737-001 ¹	オレンジ色	2 SFF(2.5型)バックプ レーン	システムボードSlimSAS ポート

1 オプションキット: P48899-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド:システムボード



レーン

1 オプションキット: P48899-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド:システムボード

ポート1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45607-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプ レーン	システムボードSlimSAS ポート

1 オプションキット: P48899-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド: プライマリタイプpコントローラー



 P45611-001¹
 オレンジ色
 2 SFF (2.5型) バックプ
 プライマリタイプpコント

 レーン
 ローラー

1 オプションキット: P48910-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド:背面MCIOポート



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45608-001 ¹	オレンジ色	2 SFF(2.5型)バックプ レーン	CPU1 MCIOポート1

1 オプションキット: P48899-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド: プライマリタイプoコントローラー



1 オプションキット: P48910-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド: セカンダリタイプoコントローラー



1 オプションキット: P48910-B21

4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続 4 LFF (3.5型) ボックス1: プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48970-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート1

」 4 LFF(3.5型)ボックス1:プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48958-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコント ローラーポート1

1 オプションキット: P48913-B21

4 LFF (3.5型) ボックス1: システムボード



オプションキット:P51897-B21

1

NS204i-uのケーブル接続

内部NS204i-u電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

オプションキット: P48920-B21 1

内部NS204i-uデータ



P54092-001 1

1

オレンジ色

NS204i-uブートデバイス システムボード

オプションキット: P48920-B21

ライザーケージNS204i-u電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54088-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

1 オプションキット: P54702-B21

ライザーケージNS204i-uデータ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54087-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

1 オプションキット: P54702-B21

0CPアダブター帯域幅アッブグレードのケーブル接続

0CPスロット15、ポート2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43734-001 ¹	オレンジ色	0CPスロット15、ポート2	ソケット2 MCIOコネク ター2

1 オプションキット: P52417-B21

0CPスロット15、ポート1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43734-001 ¹	オレンジ色	0CPスロット15、ポート1	ソケット2 MCIOコネク ター1

1 オプションキット: P52417-B21



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43735-001 ¹	オレンジ色	0CPスロット15、ポート1	ソケット1 MCIOポート1

1 オプションキット: P52417-B21



0CPスロット14、ポート2

ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43736-001 ¹	オレンジ色	0CPスロット14、ポート2	ンケット1 MCIOポート1

1 オプションキット: P52417-B21

電源ケーブルの接続

電源スイッチ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43727-001	オレンジ色	電源スイッチ	システムボード

EDSFFバックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48965-001	オレンジ色	EDSFFバックプレーン	システムボード

4 LFF (3.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43726-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) バックプ	システムボード

8 SFF (2.5型) バックプレーン電源


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43729-001 ¹	オレンジ色	8 SFF (2.5型) バックプ	システムボード

1 オプションキット: P48895-B21

2 SFF (2.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
869667-001 ¹	オレンジ色	2 SFF(2.5型)バックプ レーン	8 SFF(2.5型)バックプ レーン

1 オプションキット: P48899-B21

10ケーブル接続

SFF(2.5型)オプティカルディスクドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45622-001 ¹	オレンジ色	SFF(2.5型)オプティカ ルディスクドライブ	システムボード

<u>1</u> オプションキット: P48926-B21

SFF(2.5型)フロントディスプレイのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45620-001 ¹	オレンジ色	SFF(2.5型)フロント ディスプレイ	システムボード

1

LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45621-001 ¹	オレンジ色	LFF(3.5型)オプティカ ルディスクドライブ	システムボード

1 オプションキット: P48914-B21

LFF (3.5型) フロントディスプレイポート/USBケーブル接続



1 オプションキット: P48928-B21

Systems Insight Displayのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001 ¹	オレンジ色	Systems Insight Display モジュール	システムボード

1 オプションキット: P48927-B21

侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P47751-001 ¹	オレンジ色	侵入検知スイッチ	システムボード

1 オプションキット: P48922-B21

シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45623-001 ¹	オレンジ色	シリアルポート	システムボード

1 オプションキット: P48921-B21

Smartストレージバッテリ/キャパシターのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45618-001 ¹	オレンジ色	Smartストレージバッテリ またはキャパシター	システムボード

1 オプションキット: P48918-B21

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs(https://www.hpe.com/info/dl360gen11-docs)を参照してください。
- HPE ファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPE ファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の変更、機能強化、およびバグ修正については、最新の製品リリースノートを参照してください。

サブトピック

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート サーバーの構成 ストレージコントローラーの構成 HPE NS204i ブートデバイスの管理 オペレーティングシステムの展開 セキュリティの構成 サーバーの最適化 サーバー管理 Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

目的	使用
Service Packのダウンロード	• Service Pack for ProLiant (SPP)
	http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl
	 HPE SynergyソフトウェアリリースおよびHPE Synergy Service Pack (SSP)
	<u>https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-</u> <u>information</u>
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager (SUM)
	https://www.hpe.com/info/sum-docs
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView
	https://www.hpe.com/support/oneview-docs
• 分散されたサーバーインフラストラクチャーのサー	HPE GreenLake for Compute Ops Management
 ・	https://www.hpe.com/info/com-docs
 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの 準拠を監視する 	
• 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る	
 ベースラインアップデートアラートを受け取る 	

サーバーの構成

 ■ーサーバー (GUI) Intelligent Provisioning https://www.hps.com/info/intelligentprovisioning/docs iL0リモートコンソールまたはWebインターフェイス https://www.hps.com/info/UEFI=manuals UEFIシステムユーティリティ https://www.hps.com/info/comedocs #PE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hps.com/info/comedocs #UFI GreenLake for Compute Ops Management https://www.hps.com/support/restfulinterface/docs Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://www.hps.com/info/comedocs Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://www.hps.com/info/powershell/docs iLO RESTful AP1 https://www.hps.com/info/powershell/docs iLO RESTful AP1 https://developer.greenLake.hps.com/ MEE GreenLake for Compute Ops Management AP1 https://developer.greenLake.hps.com/ MEE GreenLake for Compute Ops Management AP1 https://www.hps.com/support/neview_docs HEE GreenLake for Compute Ops Management AP1 https://www.hps.com/info/com-docs MFE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hps.com/info/com-docs MFE GreenLake for/m	構成する対象	使用
iLU9コートコンソールまたは米やインターフェイス iLU9コートコンソールまたは米やインターフェイス https://www.hpe.com/info/UEE1_manuals ・ UEF1システムユーティリティ https://www.hpe.com/info/UEE1_manuals ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs 単ーサーバー (スクリプト) ・ RESITulインターフェイスツール https://www.hpe.com/info/com-docs ・ Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest- library ・ RESITul インターフェイスリプト ・ RESITul インターフェイスツール https://www.hpe.com/info/powershell ・ Https://www.hpe.com/info/powershell ・ Https://www.hpe.com/info/powershell/docs ・ LO RESITul API ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management ・ HTtps://www.hpe.com/info/com-docs ・ サーバーの取送っティーグルーブ: 画用のパラメーターを定義し、それら をサーバーグルーブに回転のサーバー Sel定でカスタム定 象セットにサーバーを構成して、グルーブ回向のボリッーン・シーを構成して、	単一サーバー(GUI)	Intelligent Provisioning
 IDサモドロンニアメドには、ロッシュアメオス https://www.hpe.com/info/UEFI-manuals UEFIシステムユーティリティ https://www.hpe.com/info/UEFI-manuals HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) RESIFul インターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powerShell https://www.hpe.com/info/com HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs サーバーのData ウルーブに回有のパランーフーンスーステーンスースースースースースースースースースースースースースースースー		ilout = h = ::::::::::::::::::::::::::::::::
INTERSTITUTE		 ILUリモートコンノールまたはWebインダーノエイス https://www.bpe.com/support/ilo6
ittp://www.hpe.com/info/UEFI-manuals ittp://www.hpe.com/info/Com-docs 単ーサーバー (スクリプト) RESTFulインターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs Python iLD Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://www.hpe.com/info/com-docs ・ Python iLD Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest- library ・ Soripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs ・ ILO RESTFul API https://developer.greenlake.hpe.com/ を数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://www.hpe.com/info/com-docs ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://www.hpe.com/info/com-docs ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs ・ サービーバーの設定でカスラムランズジェースラインなど のサーバーの設定でカスラムランズシュースラインなど のサーバーグループ: 同連のサーバー設定でカスタム定 をサーバーグループ: 同連のサーバー設定でカスタム定 素セットにサーバーを編成して、グループ固有のボリ シーを適用して、グループは内です。		 IJFF1システムコーティリティ
International sector for the computer of the		https://www.hpe.com/info/UFFI-manuals
https://www.hpe.com/info/com-docs 単ーサーバー(スクリプト) RESTfulインターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs Python iLO Redfishライブラリ(python-ilorest- library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest- library Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powerShell https://www.hpe.com/info/powerShell https://www.hpe.com/info/comedocs iUO RESTful API https://www.hpe.com/support/oneview-docs iHPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs iHPE GreenLake for Compute Ops Management <td< th=""><th></th><th> HPE GreenLake for Compute Ops Management </th></td<>		 HPE GreenLake for Compute Ops Management
 単ーサーバー (スクリプト) RESTfulインターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest- library Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powerShell/docs iLO RESTful API https://www.hpe.com/info/powerShell/docs iLO RESTful API https://developer.greenlake.hpe.com/ WPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ WPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs UP - if-on@giz: ファームウェアベースラインなど のサーバーの問有のパラメーターを定意し、それら をサーバーグルーブ: 園連のサーバー設定でカスタム定 職在ットにサーバーを編成して、グルーブ回向のポリ シーを適用して、グルーブ内のサーバー全体で可し た構成を作成します。 		https://www.hpe.com/info/com-docs
https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs Python iL0 Redfishライブラリ (python-ilorest-library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powerShell https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs iL0 RESTful API https://developer.greenlake.hpe.com/ kttps://developer.greenlake.hpe.com/ kttps://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs www.hpe.com/info/com-docs www.hpe.com/info/com-docs wtwo.hpe.com/info/com-docs wtwo.hpe.com/info/com-docs wtwo.hpe.com/info/com-docs wtwo.hpe.com/info/com-docs wtwo.hpe.com/info/com-docs	単-サ-バ-(スクリプト)	• RESTfulインターフェイスツール
 Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest- library Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powerShell/docs iLO RESTful API https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ 		<u>https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs</u>
https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest- library Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs iLO RESTful API https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ 複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) HPE OneView1 https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs https://www.hpe.com/info/com-docs * * HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs *		 Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest- library)
 Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs iLO RESTful API https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ HPE OneView¹ https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs サーバーの設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー団有のパラメーターを定義し、それらなサーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーグループ: 関連のサーバー会社で一貫した構成を作成します。 		<u>https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-</u> library
https://www.hpe.com/info/powershell/docs iLO RESTful API https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ 複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) HPE OneView ¹ https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs ッ サーバーの設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 ッ サーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義者セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ同有のポリューを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。		 Scripting Tools for Windows PowerShell
 iLO RESTFul API https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ 複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) HPE OneView ¹ https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs or サーバーの設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のボリシーを適用して、グループ面有のボリシーを適用して、グループ面有のボリシーを適用して、グループ面有のボリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。		https://www.hpe.com/info/powershell/docs
https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/ ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ 複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) ・ HPE OneView ¹ https://www.hpe.com/support/oneview-docs ・ HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs ・ サーバーの設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 ・ サーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。		• iLO RESTful API
 HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/ 複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) HPE OneView¹ https://www.hpe.com/support/oneview-docs HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs サーバーの設定:ファームウェアベースラインなど のサーバー固有のパラメーターを定義し、それら をサーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定 義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリ シーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫し た構成を作成します。 		https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/
https://developer.greenlake.hpe.com/ 複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか) • HPE OneView1 https://www.hpe.com/support/oneview-docs • HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs • サーバーの設定:ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 • サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ同有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。		• HPE GreenLake for Compute Ops Management API
 複数サーバー(UIまたはスクリプトのいずれか) HPE OneView¹ <u>https://www.hpe.com/support/oneview-docs</u> HPE GreenLake for Compute Ops Management <u>https://www.hpe.com/info/com-docs</u> サーバーの設定:ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループのカのサーバー全体で一貫した構成を作成します。 		https://developer.greenlake.hpe.com/
https://www.hpe.com/support/oneview-docs• HPE GreenLake for Compute Ops Managementhttps://www.hpe.com/info/com-docs• サーバーの設定:ファームウェアベースラインなどのサーバー回有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。• サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。	複数サーバー(UIまたはスクリプトのいずれか)	• HPE OneView ¹
 HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs サーバーの設定:ファームウェアベースラインなど のサーバー固有のパラメーターを定義し、それら をサーバーグループに適用します。 サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定 義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリ シーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫し た構成を作成します。 		https://www.hpe.com/support/oneview-docs
 https://www.hpe.com/info/com-docs サーバーの設定:ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。 		 HPE GreenLake for Compute Ops Management
 サーバーの設定:ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。 		https://www.hpe.com/info/com-docs
 サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。 		 サーバーの設定:ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。
		 サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定 義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリ シーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫し た構成を作成します。

HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法について詳しくは、iLOユーザーガイド(<u>https://www.hpe.com/support/ilo6</u>)を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ	ドキュメント	
SRコントローラー	-	
Gen11	HPE SR Gen11コントローラーユーザーガイド	
	<u>https://hpe.com/support/SR-Gen11-UG</u>	
Gen10	HPE SmartアレイSR Gen10コントローラーユーザーガイド	
	<u>https://www.hpe.com/support/SR-Gen10-UG</u>	
MRコントローラー	_	
Gen11	HPE MR Gen11コントローラーユーザーガイド	
	<u>https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG</u>	
世代間MRガイド	 HPE MR Storage Administrator User Guide 	
	https://www.hpe.com/support/MRSA	
	• HPE MR StorCLI User Guide	
	https://www.hpe.com/support/StorCLI	

HPE NS204i ブートデバイスの管理

HPE NS204iブートデバイスのサポートされている機能とメンテナンス情報について詳しくは、 HPE NS204iブートデバイス ユーザーガイドを参照してください。

https://www.hpe.com/support/NS204-UG

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

https:/	///////////////////////////////////////	hpe.	COM/	/support/	/Server	s-Cer	tifi	ication-	-Matr	ices
									-	

目的	参照
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide
	https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	HPE ProLiant Gen11サーバーおよびHPE Synergy用UEFIシス テムユーティリティユーザーガイド
	https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en
iL0仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド
	https://www.hpe.com/support/ilo6
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド
	https://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs

セキュリティの構成

目的	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	 HPE コンピュートセキュリティリファレンスガイド <u>https://www.hpe.com/support/gen10-security-ref-ja</u>
	 HPE iL0 6セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo6-security-en
	······································
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy
	<u>https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en</u>

サーバーの最適化

目的	参照
管理およびチューニング機能を通じてサーバーのパフォー	HPEサーバーパフォーマンス管理およびチューニングガイド
マンスを最適化します。	<u>https://www.hpe.com/support/gen10-intelligent-system-</u> <u>tuning-ja</u>
誤った設定を解決するための推奨事項を入手します。	HPE InfoSight for Servers User Guide
	https://www.hpe.com/support/InfoSight-for-Servers-UG- en

サーバー管理

監視する対象	参照
単ーサーバー	HPE iLO
	https://www.hpe.com/support/ilo-docs
複数サーバー	HPE OneView
	https://www.hpe.com/support/oneview-docs
単一または複数サーバー	HPE GreenLake for Compute Ops Management
	<u>https://www.hpe.com/info/com-docs</u>

Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

目的	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行い	HPE Performance Cluster Manager
ます。	https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools
	https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント	HPE Cray Programming Environment User Guide
通信および集合通信の低レイテンンと局帯域幅を実現する ために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	<u>https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides</u>

トラブルシューティング

サブトピック

<u>NMI機能</u>

<u>トラブルシューティングの資料</u>

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファ イルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングな ど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者は システムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報 が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiL0生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングの資料は、以下のドキュメントのHPE Gen11サーバー製品で使用できます。

- HPE ProLiant Gen11サーバー用のトラブルシューティングガイドは、一般的な問題を解決するための手順を紹介し、障害を特定し識別するための一連の包括的な対策、問題の解決方法、ソフトウェアのメンテナンスについて説明しています。
- HPE ProLiant Gen11サーバーおよびHPE Synergy用のインテグレーテッドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイドでは、クリティカルおよび警告IMLイベントを解決するためのIMLメッセージおよび関連するトラブルシューティング情報を提供します。

お使いの製品のトラブルシューティングの資料にアクセスするには、<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>を参照して ください。

仕様

サブトピック

<u>環境仕様</u> <u>機械仕様</u> <u>電源装置の仕様</u> <u>ホットプラグ対応電源装置に関する計算</u>

環境仕様

仕様	値
温度範囲 ¹	-
動作時	10° C~35° C
非動作時	-30° C∼60° C
相対湿度(ただし結露しないこと)	_
動作時	最小:-12°C露点温度または8%相対湿度
	最大:24°C露点温度または90%相対湿度
非動作時	5~95%

38.7°C、最高湿球温度

1 ここで示す温度の定格はすべて海抜0 mでのものです。海抜3,048 mまでは、高度が304.8 m上昇するごとに1.0°C下が ります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は20°C/時です。上限と変化率は、取り付けられて いるオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

特定の承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気温度の範囲が次のように拡大されます。

- 海抜0 mで5~10°Cおよび35~40°C。この温度は、海抜900 mから3048 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0°C低くなります。
- 海抜0 mで40~45°C。この温度は、海抜900 mから3048 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0°C低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>を参照してください。

機械仕様

仕様	値
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き、SFF(2.5型)	75.31 cm (29.65インチ)
奥行き、LFF(3.5型)	77.30 cm (30.43インチ)
幅	43.46 cm(17.11インチ)
重量、SFF(2.5型)最小	14.50 kg (32ポンド)
重量、SFF(2.5型)最大	21 kg (46ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最小	14.50 kg (32ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最大	22 kg (48ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。

- ・ <u>HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ(HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)</u>
- <u>HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)</u>
- <u>HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)</u>

サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise のWebサイト (<u>https://www.hpe.com/info/proliant/powersupply</u>) にあるQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

<u>HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)</u> <u>HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)</u> <u>HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)</u>

HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hotplug Low Halogen Power Supply)

仕様	值
入力要件	-
定格入力電圧	100~127 VAC
	200~240VAC
	240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
	240 VDC時には該当しません
定格入力電流	9.1 A (100 VAC時)
	4.4 A (200 VAC時)
	3.6 A (240 VDC時(中国のみ))
最大定格入力電力	899 W (100 VAC時)
	867 W (200 VAC時)
	864 W (240 VDC時(中国のみ))
BTU/時	3067 (100 VAC時)
	2958 (200 VAC時)
	2949 (240 VAC時 (中国のみ))
電源装置出力	-
安定時定格電力	800 W (100~127 VAC入力時)
	800 W(100~240 VAC入力時)
	800 W (240 VDC入力時 (中国のみ))
ピーク時の最大電力	800 W (100~127 VAC入力時)
	800 W (100~240 VAC入力時)
	800 W (240 VDC入力時 (中国のみ))

HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hotplug Power Supply)

仕様	値
入力要件	-
定格入力電圧	100~127 VAC
	200~240 VAC
	240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	11.3 A (100 VAC時)
	6.1A (200 VAC時)
最大定格入力電力	1103 W (100 VAC時)
	1064 W (200 VAC時)
BTU/時	3764 (100 VAC時)
	3629 (200 VAC時)
電源装置出力	-
安定時定格電力	1000 W(100~127 VAC時)
	1000 W (200~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1000 W (100~127 VAC時)
	1000 W (200~240 VAC時)

HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	值
入力要件	-
定格入力電圧	200~240 VAC
	240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	8.7 A (200 VAC時)
	7.5 A (230 VAC時)
最大定格入力電力	1734 W (200 VAC時)
	1727 W (230 VAC時)
BTU/時	5918 (200 VAC時)
	5891 (230 VAC時)
電源装置出力	-
安定時定格電力	1600 W (200~240 VAC入力時)
	1600 W (240 VDC入力時)
ピーク時の最大電力	1ミリ秒2200 W(ターボモード)(200~240 VAC入力時)

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<u>https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online</u>) を参照してください。

Webサイト

全般的なWebサイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<u>https://www.hpe.com/storage/spock</u> ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

https://www.hpe.com/storage/whitepapers

上記以外のWebサイトについては、サポートと他のリソースを参照してください。

ストレージWebサイト

サポートと他のリソース

サブトピック

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

<u>アップデートへのアクセス</u> <u>リモートサポート</u> 保証情報 <u>規定に関する情報</u> <u>ドキュメントに関するご意見、ご指摘</u>

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

• ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。

https://www.hpe.com/info/assistance

 ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにア クセスします。

https://www.hpe.com/support/hpesc

収集される情報

- テクニカルサポートの登録番号(該当する場合)
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするための メカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認して ください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

https://www.hpe.com/support/hpesc

マイHPE ソフトウェアセンター

https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter

• eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

https://www.hpe.com/support/e-updates-ja

 お客様のエンタイトルメントを表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンター More Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials

Ţ. 重要:

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品エンタイトルメントが必要な場合があります。関連するエンタイトルメントでHPE アカウントをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートされるデバイスでご利用可能です。リモートサポート は、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントをHewlett Packard Enterprise に安全な方法で自 動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバ イスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を確認します。

HPE リモートITサポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232ja_jp

HPE Tech Care Service

https://www.hpe.com/jp/techcare

HPE Complete Care

https://www.hpe.com/jp/completecare

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、標準保証確認ツールを参照してください。

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<u>https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts</u>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH (欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006)のような法的な要求事項に準拠す る必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含 有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<u>https://www.hpe.com/info/reach</u>

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照して ください。

<u>https://www.hpe.com/info/ecodata</u>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、 次を参照してください。

https://www.hpe.com/info/environment

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善 するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターポータル (<u>https://www.hpe.com/support/hpesc</u>)のフィードバックボタンとアイコン (開い ているドキュメントの下部にある)からお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されま す。